

設 立 趣 旨 書

現在日本の小学校・中学校には、多文化の子ども（海外から日本の学校に編入、就学前から家族で日本に移住、日本生まれで海外につながりがある等）が多くいます。私たちが活動の拠点としている藤沢市でも、その数は年々増え続けています。

藤沢市では、国際教室（外国籍の児童・生徒が一定数以上在籍する場合に設置される教室）で、日本語の指導等が受けられたり、教育委員会から日本語指導員が派遣され、日本語指導や学校生活のサポートが受けられたりします。しかし、予算、時間も限られる中、すべての多文化の子どもに十分な支援が適切なタイミングで行われているとは言いがたい現状があります。子どもが入った学校における国際教室の有無、多文化の子どもへの教育についての専門的な知識を持つ教員の配置の有無によっても、子どもが受けられるサポートは異なります。また、日本の学校制度や習慣を知らない保護者は、わからないことが多く、不安を抱える場合もあります。特に日本語の理解が不十分な保護者の場合には、必要な情報が届かないこともあります。市や、学校、保育園・幼稚園、ボランティア日本語教室、放課後児童クラブ、その他地域の団体など、多文化の住民に関わる部署や団体はいろいろありますが、それぞれが独自に対応しており、課題が共有されたり、連携が図られたりすることはあまりありません。多文化の子どもや保護者への切れ目ない支援を可能にするためには、それぞれの部署や団体がつながり、連携することが必要です。

私たちは、多文化の子どもが学校に入学・編入する前に、「就学前サポート・プレスクール」、「編入前サポート・プレクラス」の2日間のプログラムを実施しています。このプログラムでは、多文化の子どもが小学校・中学校に通学を開始する前に、日本の学校生活や最低限必要な日本語などについて、子どもと保護者にわかれて学びます。このプログラムで学ぶことで、小学校・中学校に入る前に、少しでも不安をとりのぞき、スムーズに学校生活が始められるよう、支援します。また、このプログラムで使うガイドブックを作成し、教育委員会と共有しています。多文化の子どもが学校に入ったあとも、夏休みなどに宿題サポート・学校生活相談などをすることで、継続的な支援を目指しています。さらに、事業の内容や課題を藤沢市各所管課・教育委員会、関係団体等と共有することで、ゆるやかなネットワークづくりを目指します。

今後は、他のNPO法人や専門家などを招き、日本語指導や初期集中指導のあり方などの研修会を開き、支援する側のスキルアップを目指します。さらに、学校や地域での多文化共生を推進するためには、受け入れ側の異文化への理解や受容も必要です。どのような背景の子どもも誇りをもって自分らしく生きられる学校、地域づくりを目指します。

これらの活動を行っていくためには、任意団体では活動に限界があり、行政や他団体との連携や助成金・補助金の交付、個人や企業からの寄付等が必要不可欠です。私たちは、特定非営利活動法人としての認証を得ることで、社会的信用を得、藤沢市や近隣地域で行政や他団体との協働を推進し、社会的使命をもって活動を広めていこうと考えています。

令和6年7月28日

法人の名称 特定非営利活動法人湘南多文化ガーデン
設立代表者 白頭 宏美